

## ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立むつ養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input checked="" type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input checked="" type="checkbox"/> 総合的な学習(探究)の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input checked="" type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他( )		
	単元(題材)名	職場・施設体験学習報告会をしよう		
	単元(題材)の目標	①職場・施設体験学習について写真や作文などを使って発表することができる。 ②友だちの発表に興味を持ち、静かに聞くことができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	中学	部	1～3 年 17 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元(題材)における主な実態を端的に記入する。 1年6名、2年3名、3年8名の計17名で構成されている。 自分の意思を周囲に伝えることが苦手な生徒が多く、発言が消極的になってしまうこともあるが、教師の支援(台本を用意する等)により自分たちで意見を出し合って活動を進めたり工夫したりすることができるようになってきている。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用したICT機器(入出力支援装置等)名を記入する。 iPad, Apple TV, PC, プロジェクター		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 Keynote, PowerPoint, Safari, Google		アプリマーク    
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input checked="" type="checkbox"/> 活動支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 ( <input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	聞き手に発表内容が分かりやすいように、提示すること。 発表者が原稿をまとめ、また台本として使用すること。 分からないこと(漢字や事業所等)の調べ学習に使用すること。		
活用の状況と支援	※ICT活用場面と行った支援について記入する。 発語が不明瞭な生徒の発表であっても、文字として提示されるため、聞き手の内容理解に役立った。また動画や画像を挿入したことで、注目して発表を聞く姿勢を引き出すことができた。 発表者は自分が台本(Keynote, PowerPoint)を作成し、操作する機会となり、意欲的に作成、発表する様子が見られた。			